



報告

輸出管理DAY for ACADEMIA 2015 開催報告

さる平成27年3月6日、芝浦工業大学 豊洲キャンパスにて、「輸出管理DAY for ACADEMIA 2015」が開催されました。

このイベントは、大学・研究機関等における輸出管理の啓発・促進・活性化を目指して、輸出管理デー・フォー・アカデミア実行委員会が主催しており、今回で3回目を数えます。当センターも開催趣旨に賛同し、毎年後援団体として支援を続けています。今年は過去最高の参加者を記録しました。

今回は「大学における安全保障輸出管理の新たな展開」をテーマに、午前の部のプレリミナリーセッションにおいて「組織内の効果的啓発活動」を議論、午後の部ではキーパーソンによる基調講演、これに続き「大学の国際共同研究に求められる安全保障輸出管理」及び「大学の輸出管理に関する包括的改善要請書について」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

「大学の輸出管理に関する包括的改善要望書」のセッションでは、CISTEC押田専務理事が登壇し、昨年6月に外務省、文科省、経産省宛に提出された「大学・研究機関における輸出管理行政に関する包括的改善要望書」の概要の説明、並びに大学・研究機関の教育・研究活動を通じた「意図せざる技術流出」の可能性について問題提起がなされました。

昨今のオープンイノベーションの潮流のもとで、スーパーグローバル大学創成支援事業並びに留学生30万人計画を推進する一方で、知の拠点である大学の教育・研究活動を舞台にした意図せざる技術流出への対処はますます重要なテーマとなってくるでしょう。当日会場では、外務省、文科省、経産省の各担当室長・企画官の皆様から各省庁における対応窓口の明確化がなされ、大学と関係省庁で認識を共

有し、ともに解決を図っていくことで一致しました。今後の議論の進展につながっていくことを期待したいところです。

- 日時 2015年3月6日（金）10:30～17:30
- 場所 芝浦工業大学 豊洲キャンパス交流棟6階大講義室
- 主催 輸出管理デー・フォー・アカデミア実行委員会
- 共催 産学連携学会、UCIP（国際・大学知財本部コンソーシアム）、芝浦工業大学、九州大学
- 後援 文部科学省、経済産業省、外務省、UNITT（大学技術移転協議会）、JAIST（日本安全保障貿易学会）、CISTEC（安全保障貿易情報センター）、日本電気計測器工業会、日本技術士会、日本知財学会、日刊工業新聞社
- 広報協力 JAFSA（国際教育交流協議会）

